

第 59 回 東京医療センター地域医療カンファレンス

開催場所： 国立病院機構東京医療センター 病棟会議室

開催日時： 平成 22 年 10 月 21 日（木） 19 時 30 分～

テ ー マ： 東京直下型大地震に備えて - 個人として・医師として -

担 当： 国立病院機構東京医療センター 救命救急センター医長 菊野 隆明

関東地方に阪神大震災級の地震が今後30年間に起きる確率が70%以上と云われてもう10年近く経ちました。関東地方に大地震が起きた時に医療者である私たちは 自分自身を守る 家族・職員を守る かかりつけの患者たちを守る 殺到する震災被害者を診療すると様々な立場で行動することが求められます。震災時に起きることを想定して、事前に準備しておけるものは準備しておくことが望ましいと考えられます。

阪神大震災級地震の被害再現実験のビデオなどを見ながら、来る震災に対する備えについて地域医家の皆様と考えていきたいと思えます。

担当医略歴：

昭和 5 9 年 北里大学医学部卒業

昭和 6 0 年 国立東京第二病院外科

昭和 6 1 年 北里大学医学部救命救急医学科

平成 4 年 国立東京第二病院救命救急センター

平成 1 3 年 国立病院東京医療センター救命救急センター医長

平成 1 6 年 中越地震にて派遣医療救援チームとして出動

学 会：

日本救急医学会（救急科専門医・指導医・評議員）、日本救急医学会関東地方会（幹事）

日本中毒学会（評議員・国際委員・保険委員）日本集中治療医学会関東甲信越地方会（評議員）

日本外傷学会、日本臨床救急医学会、日本外科学会（認定医）、日本集団災害医学

学会、東京都メディカルコントロール協議会事後検証委員会委員、東京消防庁救急隊指

導医、東京DMAT登録隊員、目黒区防災委員・国民保護委員、

*このカンファレンスは日本医師会生涯教育講座の認定単位2単位を取得できます。